

2025年度 実務経験のある教員による授業科目

担当者名	授業科目名	単位数	配置学科	授業概要
武末 朝生	武末 専門ゼミナールⅠ	1	経営総合学科	Big 4(世界4大国際会計事務所)の内、3社にて上級管理職等を歴任し、ロンドン本社勤務を含む20年以上の国際税務コンサルティング経験を有する担当教員が、国際的観点から会計・税務を考察する講義・演習を行うことを通じて、グローバル化する企業経営実務に対応できる広い視野と問題意識を醸成する。グローバル企業のケーススタディや英文記事を読むことにより、分析力や英文読解力も養成する。前期では、グローバル企業等で活躍するための基礎知識を修得することを目標とする。
武末 朝生	武末 専門ゼミナールⅡ	1	経営総合学科	Big 4(世界4大国際会計事務所)の内、3社にて上級管理職等を歴任し、ロンドン本社勤務を含む20年以上の国際税務コンサルティング経験を有する担当教員が、国際的観点から会計・税務を考察する講義・演習を行うことを通じて、グローバル化する企業経営実務に対応できる広い視野と問題意識を醸成する。グローバル企業のケーススタディや英文記事を読むことにより、分析力や英文読解力も養成する。後期では、グローバル企業等で活躍するための専門知識と課題解決能力を錬成することを目標とする。
武末 朝生	金融と証券	2	経営総合学科	Big 4(世界4大国際会計事務所)の内、3社にて上級管理職等を歴任し、ロンドン本社勤務を含む20年以上の国際税務コンサルティング経験を有する担当教員が、基本的な金融の仕組み(貨幣、金融機関、有価証券(株式、社債券)、金利、金融制度等)について全体像をつかんだ上で、最近の動向についても触れ、金融分野への興味をさらに高めることを目的とする。これまであまり金融になじみがなかった学生でも、十分理解できる内容としている。
小池 勝也	ホスピタリティ論	2	経営総合学科	組織では海外旅行代理店業務を担当し、個人としてもサービス業やコンサルティング業などを営んできた経験から、サービス産業にとどまらず、現代のビジネス社会全体で求められているホスピタリティの本質と実践方法を学びます。ホスピタリティを「相手の立場で考え、行動する力」と再定義し、顧客視点の理解、消費者心理、実践事例などを通して、人間力を高めることを目指す。
馬場 哲也	キャリアトレーニング	1	経営総合学科	これまで国内線、国際線の客室乗務員をはじめ、ホテル経営にも携わってきた担当教員が、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなどのクラス活動に参加し、自らの職業レディネスを高めることを目指す。前半では履修者が自己理解を深め、自身の能力、興味、価値観を把握することを、後半では具体的なキャリア目標を設定し、ターゲット達成に向けた行動を意欲的かつ主体的にとるためのスキルを習得することを旨とする。
経営総合学科 合計7単位				
松山 綾子	子どもの理解と援助	1	こども教育学科	保育実践の現場経験を持つ本講師が、子どもという存在をどのように理解するかその方法と保育者としてどのように援助するかについて講義する。具体的には、幼児を中心とする子どもの内面とはどのようなものであるかを、事例を挙げて解説し、その後、現場の保育者はどのように子どもとかわかっているのか等をパワーポイントや動画により、視覚的に教授する。また、幼児を中心とする子どもに対し、グループワークを通じてどのように子どもへ援助を行うべきかなどについて考え、子ども理解の基礎知識を深め、保育者としての専門性を高める。
鈴木 律子	子どもと言葉Ⅱ	1	こども教育学科	幼稚園教諭の実務経験を活かし授業を展開する。子どもの発達に則して「話す」、「聞く」、「伝える」といった言葉の基礎について学ぶと共にコミュニケーションの円滑な進め方の実践として絵本や紙芝居等の児童文化財を活用し、演技や技術によって表現される無形のもの、物体として表現される有形のものとの両側面から学ぶ。
小木曾 宏	子ども家庭福祉	2	こども教育学科	児童自立支援施設、児童相談所、児童養護施設長、合わせて26年間、社会的養護実践に従事してきた。国や千葉県の委員及びスーパーバイザーの経験を活かし、事例研究やロールプレイングなど実践的な演習を取り入れている。「社会的養護」科目では、子ども達の暮らし「社会的養護の現状及び課題」を習得した。本授業では、今日の子どもたちをめぐる諸問題と社会的な背景を理解し、子どもと家族をサポートするための福祉制度や法律などの基礎を学ぶ。また、子どもの権利とは何かについて学び、子ども虐待対応の基礎について学ぶ。
小木曾 宏	保育実習指導Ⅲ	2	こども教育学科	社会的養護施設の現場経験と大学の「実習センター」相談員(12年)の経験を活かし、施設サイドと養成校サイド、両面の視点を持って、実習施設と連携を図りながら実習教育を行っている。本科目では、実習の事前学習、本実習を経て実際の保育実習後の振り返りを行い、実習により学んだ内容の整理を行う。さらに実習指導者から受けた助言や自己覚知できた内容をまとめて発表する。それと同時に利用者として、感じられたこと、考えたことを文章化して、クラス全体でディスカッションする。そして、クラス内で実習報告会を実施する。最後に、自己の課題を明確にして、保育実習Ⅱ及びⅢに向けた新たな計画に結びつける。
小木曾 宏	保育実習Ⅲ(施設)	2	こども教育学科	千葉県の児童養護施設長、児童相談所職員等、26年間の経験から千葉県内の児童福祉施設との繋がりが強固にある。それにより深い信頼関係を築いている。したがって、実習内容も相互に新たな実践を交えながら行っている。本科目では、実際の児童福祉施設における保育・養護の実際の場面で、児童の日常生活・介助・援助をはじめ、生活指導・遊び・学習指導、保健指導等、日常生活の維持と心身の発達に直接かかわることを体験的に学ぶ。
こども教育学科 合計8単位				